

君とすごした日々

作・こいけ かぶ



体重32KG まん丸お顔の鼻ベチャさんは、
イングリッシュブルドッグの男の子 名前は “かぶ”
彼は、わたくし母さんのことを“ちゃーちゃん”と理解しております。

お姉ちゃんふたりと私たちの4人暮らしでしたが、かぶとの生活が始まって2年が過ぎた頃には、お姉ちゃん達はお嫁に行きました。

ふたりだけになってしまいました。かぶのユーモラスな風貌は見ているだけで笑いが漏れ、頑固ですが、ユニークで甘えん坊なかぶが居てくれたので寂しいと感じることもなく、日々楽しくてしょうがない生活をおくっております。

かぶを育てるのに苦戦したことは、嫌な思いをさせると、それを克服するのにとても時間がかかることです。

シャンプー後、身体は乾かしてくれるのですが、シワシワのお顔を乾かさしてくれる様になるのに4年かかりました。

歯磨きは3年…相当な頑固さんなのです。

ですが、何だかんだ言っても、この愛くるしい生き物を
“可愛い天才”などと称し溺愛しております。



かぶとの出会いは、更年期で何もかも面倒くさくなって
ちやーちゃんの生活を大変させてくれました。

特に、かぶさっかけで始めた SNSの影響は大きく、
やる気ゼロの気持ちから脱出ができたのは、かぶとSNSのお陰かも
知れませぬ。

10月に8歳のお誕生日を迎えたかぶは、その翌年2月が過ぎたころから、
何かスッキリしない体調に悩院することが増えていました。
あちこち検査をした結果、甲状腺機能低下症と判断され心配しましたが、
治療とお薬の効果もあり、少しずつですが体調は良くなっていました。

ゴールデンウィークには、帰省した孫達家族と楽しく過ごしました。
次のお盆の帰省時にかぶとプールの約束を交わした孫は、数ヶ月の
お別れを惜しみ帰って行きました。



その矢先でした。

突然、かぶの片目が白く濁りました。直ぐに目薬を処方してもらい
点眼していましたが、一週間もしないうちにもう片方も濁り両目が
見えていない状態になりました。

失明でもなく白内障でもない、何かの原因で白い霧がかかった状態にな
っているようなのです。

こんな突然に見えなくなるのは不自然だという診断が下され
甲状腺機能低下症の他に脳腫瘍の疑いが出て来ました。

脳腫瘍の場合、余命の宣告もあるとのことでした。

はっきりさせるには麻酔を伴う検査が必要でした。

体調が万全でない上に、ブルドッグにとって8歳8ヶ月での麻酔はリスクが高すぎ
検査に踏み切れませんでした。

セカンドオピニオンも試しましたが同じ見解でした。

私の頭の中は真っ白になりました。



診察後、どの様にしてかぶを連れて帰って来たのか
覚えてないくらい混乱していました。

甲状腺機能低下症になり盲目にまでなってしまったかぶ、
それだけでも不慣れに思うのに脳腫瘍かもしれない？

こんなにも愛らしく優しく良い子なのに！

かぶが何をしたと言うのだ。

なぜ！うちの子がこんな罰を受けなければならぬのか。
胸の奥底から苦しいほどの怒りが込み上げてきたと思えば。

今の今まで何を見ていたんだ！

もっとかぶの健康に注意を向けていれば、

こんな事になっていなかったのではなからうか。

もっと…もっと…早く気づいていれば…

かぶを失ってしまうかも知れない恐怖が頭の中で
ぐるぐる回り涙が溢れて止まりませんでした。

ふと、かぶが近くにいないことに気づきました。

周りを見渡しかぶを見つけたチャーちゃんは凍りつきました。

今まで見たことのない怯えた表情のかぶが、サークルの隅で小さくなって
一歩も動けないでいるではありませんか！

唯一無二の存在であるチャーちゃんの怒りや悲しみを感じ取り
泣き声まで聞こえてくる。

目の見えないかぶにとって恐怖でしかないはず。

かぶの不安に気づき、情けない自分を叱咤し、そして奮起しました。

どれだけ生きられるかなんてどうでもいい！

かぶの命が強く限り出来るだけ不安を取り去ってあげなければ。

そして目一杯の愛情で満たしてあげたい。

“この子はうちの長男！お顔が大きいから難産でした！”と言い張り、
娘達と同じように慈しみ育ててきた自慢の息子なんだ！

チャーちゃんは自分の寂しさ悲しみを封印し、

“今後一切かぶの前では泣かない！”と決意しました。



チャーちゃんは、かぶに伝わってようがなかるうが、
今までと変わらない態度で、かぶの白く濁って見えていない體を
見つめて笑顔で話しかけました。

大きなかぶを誘導するために家の中でもハーネスをつけ、
壁に当たったり、机に当たったり、あちこち当たるたびに
明るい声で言葉がけをし助しました。

一緒について歩くうちに部屋の開取りや、どこに何があったのかなどを
すぐに思い出し、あっというまに感覚を取り戻したかぶは、
部屋のありとあらゆる物にもガツンと当たることが少なくなりました。

コツンコツンと軽く当たりながらも、お水だってこぼさずに飲めるんです。
お気に入りのハウスにも入れるし、お留守番用の大きなサークルにも入れます。

どこでトイレを済ませれば良いのか分からず怯えていたかぶでしたが、
毎度のトイレタイム以外にも「ワン！ワン！シッコ出る！」と
訴えるようにもなりました。

「かぶ」と呼ぶと、声のする方にこんな可愛いお顔を向けてくれます。



まだまだハーネスは必須ですが、車にだって乗れるし、
通院も出来ます。

「かぶ！こっち！こっち！」と床を鳴らすと、
ウロウロしながらも、チャーちゃんの元に来てくれます。

数あるぬいぐるみの中から、お気に入りを探し出し
毎度毎度のチュパチュパもお手のものです。

あちこち当たりながらも、チャーちゃんの布団に
潜り込んで来てくれた時は、かぶの前では泣かないと
決意したチャーちゃんでしたが、堪えきれずに涙が溢れて
止まりませんでした。



ためしよみ

は

ここまでです